

第 10 期武蔵野市環境市民会議（第 4 回） 会議要録

日時 平成 30 年 7 月 19 日（木） 18 時 30 分開会
 場所 武蔵野市役所 813 会議室
 出席者 委員 13 名、事務局（環境政策課） 4 名
 （委員：大江委員長、鈴木副委員長、朝日委員、笠原委員、千葉委員、白田委員、服部委員、花俣委員、幕田委員、松村委員、三浦委員、山村委員、木村委員）
 内容 エネルギーのスマート化について

① エネルギーのスマート化について

発言者	要旨
委員長	今回はエネルギーのスマート化について議論を行う。事務局から武蔵野市の事業概要について説明を受けた後、東京電力パワーグリッドの服部委員及び東京ガスの松村委員による、事業者の立場からエネルギーのスマート化について報告いただく。
事務局	（武蔵野市におけるエネルギーのスマート化について説明。資料 1 参照）
委員	（スマート化に関連して、東京電力でのスマートメーターの取り付け状況等について以下の点を説明いただいた（抜粋）。資料 2－①参照） <ul style="list-style-type: none"> ・スマートメーターの実物を示しながら、その概要 ・スマートメーターを HEMS と同時設置することにより、電気使用量を細かく見ることができ、使用電力のピークカットによる基本料金の値下げの効果が生まれること ・作業員による検針等の作業量減少による、市民への負担軽減 ・将来展開として、遠隔地の家族の様子把握に活用できるか検討していること
委員長	質問については東京ガスの松村委員からの報告の後、受けたいと思う。
委員	（エネルギーの見える化について説明（抜粋）。資料 2－②参照） <ul style="list-style-type: none"> ・シンクタンクでの「見える化」に関する意識調査の結果 ・東京ガスの登録制サイトにおいて、月別の電気使用量や同規模世帯との電気使用量の比較、自宅の省エネランキングなどがわかること ・ガスのスマートメーターの紹介
事務局	本市としても、事業者の活動の支援や HEMS 普及による電力使用量の削減を進めていきたいと考えている。
委員長	今の 3 つの報告を受けて、質問あれば出していただきたい。
委員	電気のスマートメーターの通信電波周波数帯は何か。
委員	周波数帯に関して詳細には分からないが、戸建てとマンションで通信方法を変えている場合がある。戸建てでは基本的に個別でのデータ通信や電波が届かないところでは、他の家のスマートメーターから通信している場合がある。また、マンションでは全棟のデータを集約して一括で通信する場合もある。 通信ルートにも違いがあり、電波を使う方法と電力線を使ってデータを送るルートがある。 （服部委員後日補足：使用している周波数は 920M ヘルツである。また、スマートメ

	ーター本体には記録装置が内蔵されており、44 日分以上を記録している。停電があった場合は、その時間や復帰した時間の記録も行う。)
委員	データを送信する頻度はどのくらいか。随時データをとれるのか。
委員	30分単位であれば、任意のタイミングでデータを集めることが可能である。
委員長	スマートメーターの設置費用は利用者負担か。
委員	メーター設置に係る利用者負担はない。従来品の取り換え時と新築したときにスマートメーターを設置している。また、従来型のメーターは現在製造していない。
委員	HEMS を設置しないと P C でデータを見るができないのか。
委員	そのとおりである。 (服部委員後日補足：スマートメーターが設置されている場合、P C やスマートフォンで 30 分あたりの電力使用量が表示できる。HEMS が設置されていなくとも対応している。)
委員	つまり、HEMS を知らないとそのシステムは一般家庭に普及しないと思う。
委員	HEMS を設置しても、電力使用量だけを見るのはもったいない。HEMS は家電の制御を行う機能もあるので、そういった機能を活用するほうが良い。
委員	自宅で電気を東京ガスに切り替え、使用している。松村委員からの報告で登録制のサイトの存在を初めて知ったが、このサイトでは契約前の実績は見れるか。
委員	契約前のデータは見ることができない。サイトでデータを見ることができるのは、スマートメーターに取り換え、データが送られてきてからである。
委員長	HEMS は水道のメーターも接続して、見える化することは可能なのか。
委員	将来的には可能になるのではないか。
委員	今回のような話を市民会議の場だけではなく、説明会などを開催して市民へ広めてほしい。環境に興味があっても HEMS について知らない人もいるのではないか。HEMS の助成についても、知らない人が多いため説明会などでもっと広めていただきたい。
委員長	武蔵野市では HEMS に 5 万円の助成が出るとのことだが、HEMS 機器はどのくらいの価格か。
事務局	おおよそ 10 万円前後である。ただ、専用機器ではなく、モデム等に接続し P C ・タブレット・スマートフォンの画面を活用して手軽に電気使用量などを見ることが出来る安価な機種もある。
委員長	市としては HEMS の啓発はどのようにしているのか。HEMS という言葉がわかりにくいので武蔵野市独特のやり方で分かりやすいように啓発すればよいと考える。
委員	市民への啓発を考えた場合、助成対象メニューだけを一覧にしておくのか、助成の活用方法や考え方をセットにして啓発するのか、啓発方法について考える余地があると思う。各家庭事情は異なっているので、それぞれの家庭でできる取組み内容について筋道が分かるとよいと考えている。例えば、新築の家には HEMS を設置すると良いです、など助成のメニューの使い方を示すことが大切ではないか。
委員	助成制度について、昨年度までは HEMS の同時設置が条件であった。過去、個人的にある企業のモニターを行ったことがある。その時には、エアコンなどが HEMS 対応の家電でないとい電気使用量の内訳が見えなかった。対応していない家電の場合は、HEMS

	<p>と接続するための機器の設置が必要である。</p> <p>そのような家電機能の制限があるので、市の助成制度も内容を考えていかなければいけないと感じている。</p> <p>東京ガスの会員制サイトでは一定程度の電力使用量など見ることができるので、HEMSを導入していなくてもある程度見える化は図れると思う。そのため、さまざまなコンテンツを活用して自身の電気使用量を見ていくことも大切と考えている。</p> <p>エネファームはHEMSまでとはいかないだろうが、どの程度見える化できるのか。</p>
委員	エネファームでは自宅内の電力をまとめて表示することが可能であるので、おおよその数値は見るができる。
委員	HEMS とまではいかないが、簡易の見える化ができるということだろう。
委員長	エネファームという呼び方は一般的であるのか。
委員	家庭用燃料電池を開発する様々なメーカーが、全国で統一した呼称とするように決め、エネファームと定めた経緯がある。
委員	エネファームは発電時間を選べ、夜間も発電可能である。太陽光発電と組み合わせ、日中両方使用し発電し、夜間はエネファームで発電する等の柔軟な使用方法が可能と考えている。
委員	昨年発売された最新のエネファームでは、学習機能が付いているものがある。設置者の生活リズムなどを把握して、最適なタイミングで電気使用が可能となる。
委員	HEMS に関しても、ただ電力使用量が見えるだけではなく、マネジメントすることに意味がある。各家電を接続し、家庭全体から見たときの家電制御機能が働いてはじめて意味があるものとなると思う。また、先進的な技術を導入する施策展開について、導入のコストダウンまで待つのか、それとも先進的に取り組んでいくのか、多様な方法がある。武蔵野市としては環境についてもパイオニアとして取り組む位置にあると考えている。
委員	武蔵野市に住む人の現状分析が大切ではないか。市民がどれだけ戸建てに住んでいるのかどうか、HEMS 活用が可能な家なのかどうか、また転入する人が戸建て・マンションどちらを選ぶのかなど、様々な現状がある。そのような状況を把握したうえでHEMS 設置も考える必要があると思う。武蔵野市の住宅状況はどうなっているか。
委員	手元にデータがないのでわからないが、武蔵野市は戸建てよりも共同住宅が圧倒的に多い。市としても、助成金を出し率先的に機器設置の支援をしていかなければいけないと思う。
委員	市内における HEMS の普及率はどの程度か。
委員	普及率の数値は出ていないが、ものすごく多いわけではないと考えている。
委員	機器の設置の相談はあるのか。
事務局	助成制度に関する相談は環境政策課で受けているが、HEMS に関する相談事例は少ない。また、大規模開発の際には、HEMS 設置など環境に配慮した取り組みを進めるように協議をしている。

② その他

発言者	要旨
委員長	会議時間が残り少なくなったので、東京電力から残りの報告と事務局から次回会議について案内をもらう。
委員	(電柱の地下化の取組みについて説明)
事務局	(次回会議の現地研修について及び次々回の会議予定について説明)

(注) その他これまでの運用に基づき受け入れていた、本会議における傍聴について、傍聴規定を委員に諮り決定した。